

# 京城日報

刊 日 六

## 陸軍大異動發表

六日陸軍省を以て陸軍大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十三師團長 秋山好古氏

任陸軍中將補第二十四師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十五師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十六師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十七師團長 秋山好古氏

任陸軍中將補第二十八師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十九師團長 白木淡

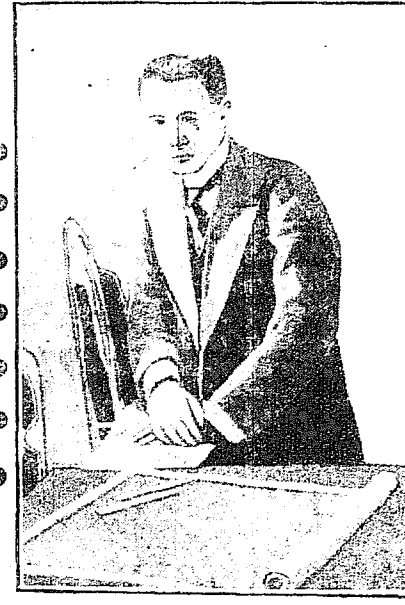
任陸軍中將補第三十師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第三十一師團長 秋山好古氏

任陸軍中將補第三十二師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第三十三師團長 白木淡

任陸軍中將補第三十四師團長 市川堅太郎



## 露國首相辭職

露國首相ケレンスキー氏は辭表を提出した(露特電)

露國首相ケレンスキー氏は、昨(六)日、露國政府を以て、露國の大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十三師團長 秋山好古氏

任陸軍中將補第二十四師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十五師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十六師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十七師團長 秋山好古氏

任陸軍中將補第二十八師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十九師團長 白木淡

任陸軍中將補第三十師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第三十一師團長 秋山好古氏

## 露國衛戍總督暗殺

露國衛戍總督エルデリ氏將軍暗殺せられたり

露國衛戍總督エルデリ氏は、昨(六)日、露國政府を以て、露國の大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

## 英國皇帝の決心

英國皇帝エドワード第七世は、昨(六)日、露國政府を以て、露國の大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十三師團長 秋山好古氏

## 英帝白國王激勵

英帝白國王は、昨(六)日、露國政府を以て、露國の大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十三師團長 秋山好古氏

## 獨逸内相の新任

獨逸内相は、昨(六)日、露國政府を以て、露國の大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十三師團長 秋山好古氏

## 長靴の大注文

長靴の大注文は、昨(六)日、露國政府を以て、露國の大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十三師團長 秋山好古氏

## 國澤理事長

國澤理事長は、昨(六)日、露國政府を以て、露國の大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十三師團長 秋山好古氏

## 物價騰貴と鮮銀

物價騰貴と鮮銀は、昨(六)日、露國政府を以て、露國の大異動を發表せしむるに當り、左の如し(東京特電)

任陸軍中將補第十五師團長 邦彦 王

任陸軍中將補第十六師團長 守正 王

任陸軍中將補第十七師團長 大谷喜久藏

任陸軍中將補第十八師團長 本郷房太郎

任陸軍中將補第十九師團長 秋山好古

任陸軍中將補第二十師團長 松川敏胤

任陸軍中將補第二十一師團長 白木淡

任陸軍中將補第二十二師團長 市川堅太郎

任陸軍中將補第二十三師團長 秋山好古氏







この頃溺死者が多い

やうに最も饒速日命に飛告してゐるが其れでも東江の水流や河底の案内に暗いため京坂方面からやつて来て悲愴な語死を遂げるものが多ひので矢野龍村山分隊長の說に昨今最う秋目になつてゐるに飛告込む、飛込んだら河底の急流に應を被はれて流れて浮べない處の最で死つて居る内に數十間も下に流され死つて居るの浮いた體には最う秋目になつてゐる

遠は最も  
が廣く併かも長くて遠淺で其れに

危険な區域である  
元町、四丁目の税關監視所下迄は最も  
危険な區域である  
昨年夏、夏の間、死者が  
あつたので自分は警備艦に  
乗り西水庫下から麻浦迄の間を實測  
したが其の結果元町四丁目の沿岸が  
最も危険な場所であることを見  
出した、同所は大抵七零四の深さで  
税關下では二十零もある、夫れに岩  
所の突出した附近は一帶に砂淺い渦  
巻きになつて流れてゐる、船の上か  
ら見ては、  
が廣く併かも去つて遠淺で其れに流  
れが水底迄続々である、同所は毎  
年幾多の游泳者があるけれど溺死す  
るやうな者も極めて數く、登陸後でも  
殊に指定した唯一の場所、所轄京城  
分隊で、  
いゝろ、警護に努  
めて居る次第で京城方面からの人々  
は其の道程は稍遠くとも西水庫に掛  
くことしたならば比較的安全が出来る  
ことと思ふ

憲兵分隊は岡郡金陵、鳳山、牙川、

●一度水中に這入る  
と恰度張り詰めた糸の下を流れて行くやうなもので到底水面に浮き上ることは不可能である、今一つは瀬淵の奥の下流から瀬が逆流して其れが瀬浦の突下流から二村間の突出處に流し、勢で押し寄せて来るので流下する河水と逆流する潮とが入れ違ひになつて潮を成し而も沿岸に干涸の泥地になつてゐるから游泳には一層不便であるのみならず疲いと思つてゐるで急に深くなつて居る上に

憲兵分隊は岡部金屋、麻山、才川、求所、開泰の五箇面より一戸當一名如斯の壯年を募り總數一千二百餘名の日に鮮人にて来る十八日を期し大々的射撃演習を催すべく常習は分隊長指揮の下に營下四五回、射所の憲兵を射手として岡部、麻屋、憲兵分隊に集合し直ちに巻狩を開始し午後五時頃引揚ぐる豫定なりと云ふ

●幼女を攫はる  
多分發の所爲なるべし

図眼醒めて見れば幼女の姿見ゆ  
 遠のき一方ならず直ちに

なり、漸次深くなつて居るから一度湧き  
上り、河心に向つて特務の底のやうな  
形に漸次深くなつて居るから一度湧  
き上り、河心に向つて特務の底のやうな  
形に漸次深くなつて居るから一度湧  
き上り、河心に向つて特務の底のやうな  
形に漸次深くなつて居るから一度湧

より早速の聲き一方ならず直ちに附  
随醒めて見れば幼女の姿現はざら  
ぬ。醒めて見れば幼女の姿現はざら  
ぬ。醒めて見れば幼女の姿現はざら  
ぬ。醒めて見れば幼女の姿現はざら  
ぬ。醒めて見れば幼女の姿現はざら

近の村民を頼み方々其の行役を捜査  
するものも判明せず翌朝に至り舟を  
距る北方面五丁餘の河岸に於て無  
慮なる幼女の死體を発見したるが多  
分多數對してはた先大して危險はあ  
るまい二村洞

憲兵補助員に取押へらる

靈兵補助員に取押へらる  
大郎歩兵第八十聯隊第十一中隊二等  
年勤選拔活(ミ)は三日午後一時隊軍  
を著したるが、背負ふ何れにか  
脱走したるが大郎憲兵分隊にては直  
ちに手配を爲し同人の捜査を行ひし  
に同日午後十一時、取押遊郡縣憲兵  
出張所附近に於て同所の補助員に  
取押へられ四日大郎憲兵分隊に護送  
され、將來を戒めた上聯隊に引渡さ  
れたりと云ふ。

毎に愛憎がしを云ふも信夫は益々  
其せ上り直頃にては同人の來るも病氣  
なりと偽りて登樓を拒み居たるに信  
夫は夫れを眞に受け斯う云ふ附こそ  
交子に

▲親切を盡す機會  
一人合點にて文子の郷里なる母親に  
きに宛て『うの危篤金送る來るか近  
事、我の島洲岬宮松方にてうのと雖  
電るにまきは萬歳機に曉めなし居  
れ、前日にも港船の來り無事なりと

五で安南省や縣からも安南と見たが、安南の

[illegible]

史を研究中ださうな

[illegible]

間もなく同町藤井竹藏の養女として貰は

聞くや同郷の無縁の客女として、はれた  
事を知り、生計にたたりて思つてゐる内室母か  
らして海港に扶立自費を差けた。  
**馬房衆女の惨状** 熊本縣志を編輯する所が  
成すまでの間四月八日、一日馬房衆つて由に駢  
死しにけり。此等馬房衆は、一戰の機手に  
引ひ掛つた儘二百圓割り狂奔の如きに曳き附ら  
れて斃れを遂げた。

**不妊な女房** 高知縣長佐々木東三(山形市)  
川省二(三)の妻あり、九十九人の間に一  
人の子を産むの術に於けるは四十四回試みに  
入るることになつた。中から馬鹿騒ぎを生れ  
て、彼娘を築とてゐる島崎藤村(四二〇)と國光  
小づる、事早川その(一)は活動寫眞  
女優となれるが去月六日同じ仲間、  
織士幾名三島有吾、宇野浩也と好  
仲となり朝鮮に落ち延び來りたる  
跡ありとて夫卵之賜より釜山警察署  
(保護)を願ひ越したり云ふ。

**蚊は何うして驅除するか**

蚊の驅除方法も人工的に色々考へ  
られて、想ふよかりに優じし懐じみのもの  
ぶ蚊帳、少し西洋式になると、窓

漢語の修言

**清野話の餘韻**

吃驚して母が内地から  
廣島縣安藝郡月町生れた常陸社の島  
松本某方に下宿する漁夫御崎岡村(三)  
は同地洲所の貧賤庶民で、閑居久  
松方への抱姫文子事山本うのの二を  
刺染たるも信夫は大の格氣をして

一にハナチノ煙草の煙もクロロ、  
アルム、ホルマリソ石炭瓦斯なども  
を殺す作用に充分にあるが、普通  
家庭で最も易く有効なのは樟腦  
石炭酸との混合物の燻蒸である。是

**◆先づ鼻口** 窓等を随間のふ

からランプで熱するのである、さう

[illegible]

生を防ぐことが出来る、さうして之

がつて一箇には有効である、殊に其  
度が溜水であるか、或は度が降らな  
い時であるとか極めて少量の石油で發  
生を防ぐことが出来る、さうして之  
に使用する石油は燈火用の上等の石  
油より廉價な重油の方が審査した  
いて却て其効力が多い

◆飲料水に 散布するのは石  
油は今の盛寒の候よりを腸肺結核に  
たのですから致く治して終はない  
意外な苦痛に陥り、眞箇の神醫  
になる事がありきです斯ういふ微候  
あつたなら直ぐ品川醫院醫學博士有妙  
の贈贈健腸丸此種のもては第  
一の信用ある健腸丸を用ゐる事を薦め  
ます。實際は程よく効く藥は無ので  
す。實病者は斯くせよ

それは夕春の空に飛ぶ蝙蝠、鳥、蝶

に自然界に於ける蚊の敵即ち自然除の罪能をも知つて置く必要があるそれは夕暮の空に飛ぶ蝙蝠、鳥、蜘蛛、蛤、魚類も亦

◇蚊の子を喰ふものである金魚の居る池には蚊が發かないのは此理に因るのである、但し金魚は

通の體の人でさへ胃され易い感夏分には一階の養生が必要な事は勿先づ日常の起居に注意して例へ夏は兎角夜を更し易いものである然ういつた事の斷然無い様にし飲運動凡て時を定めて適宜にし健勝丸を用ひて行く勿論此種の長びくのが常で其爲分悲觀に

して功績渺なからざりし故伊澤修二氏未亡人

[illegible]

胡麻を水洗ひし布巾にて固くしほり焙烙でよ  
いり搥鉢すりばちに入れいごろくはに成る迄摺り砂糖中きんとうちう

初潮の水洗ひの巾着に、固くしぼり精製よく  
汗を擦へて入れたるうちに成る迄汗で巾着に乾  
一年を加へてお招き茶客飲茶一年加へてよ  
くり煎餅にかきつけに入れ砂糖大匙半分餡餅  
汁大匙半加へかき混ぜながら煮詰まどろん  
になつたなら鍋から下し冷まして盛ります  
こび餅の南蛮を器七切れ程盛り黒糖味噌を  
かけて出します

此薬餌は四回分二十錢から十匁  
五匁迄種々あつて日本内地は勿論  
外夷店でも販賣してゐます。肺病  
の悪いと思つた人。氣分の優れな  
は。此暑きの時分に打捨て、風く  
猶不可なり速に一週分をお試しか  
必す効驗が見えます。

一品新拔貨附爲一郡二毫限  
最完備

[illegible]

長を募集す返信料三々相添へ至急  
込べし直に採用し規程書を送る

を蒙る  
の勿れ

良職業

高尙有利の事業也今同大に地方支  
長を募集す返送料三圓相添へ任意  
込べし直に採用し規程書を送る  
東京市芝區愛宕町二丁目十四番地

帝國法律普及會

致富の業! 進呈  
醫藥所當務局所中人  
大阪近郊下板橋町新中戸

戒之毒言

電話 四四六六 四四六九  
電報 四四六六 四四六九  
郵政 四四六六 四四六九  
電信 四四六六 四四六九  
電報 四四六六 四四六九  
郵政 四四六六 四四六九  
電信 四四六六 四四六九

何れ  
むねはら  
いたみ  
○効能

[illegible]

田内

靴と大経路。方  
靴に用者久用靴  
好者無恨旅行  
評閱使物比耐益  
次定價衣箱用券  
二錢御送用券



屋間製靴靴田内

報 水

前日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

前日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

前日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

公債株式現物問屋  
東京株式取引所仲買人

東京市日本橋區坂本町二番地(銀行一)

細野傳次郎商店

電話浪花 四〇九番 五〇三番 六〇一番  
電報 六八九番 六九八番 五二五〇番  
電信 略號(本)又は(ホソノ)

國產 廉依格價絶卓秀優

白油

白油の代用として好評噴々たり

大阪市中野町光吉寺  
會元 三友製藥合名會社  
特約店 大阪府吹上町武田兵衛  
東京 本町小西新兵衛

文政及見水  
醫藥ニ限リ  
本誌ニ限リ  
是ノ入

三伏銷金の候謹で御見舞申上候  
却說滿三年に互る世界の大戰はゆくりなくも多年經營的に地位を  
確固たるものにして一躍價値の跳に入るの好影響を齎す  
しめたるは實に御同様に堪へざる次第に有之候も此日一日進んで止  
まざる國家の活力の膨脹に對しては實際上秩序的の進路を許さる者  
の亦已むを得ざる次第に有之の中に吾々定期取引に關係する者の  
最重最大の武器なる電信電話郵便事務の動も  
すべし世運の進展に伴けざるやの感有之特  
最近に於て其缺陷最も甚しく延滞遲延等相  
めにも空しく商機を逸し不測の御迷惑相掛け  
堪合も不承實に痛心に不堪次第に有之候勿論通信信用に於ては  
吾等にも對して遠慮なきを期し錢に乏ん人事の最善を盡くされ居候事  
吾々の疾に對して諒知する所に有之今日之實情に照らし此上備はん事  
當局に求むるは求むる者の認めらんかか存候就ては此際には於ける  
應急策として發信委託者側に於て充分此點に留意し能ふ限り時間  
餘裕を見込むは固より其他の點に就ても層の入念を期するより有  
之の間敷と存候間小店に於ては率先此方針に依り實行能は候事  
申上候御意様各位に於ても何卒此邊御含のし御信用仰候事には御座  
申上候御意様各位に於ても何卒此邊御含のし御信用仰候事には御座  
申上候御意様各位に於ても何卒此邊御含のし御信用仰候事には御座

大阪堂島米穀取引所仲買人  
會 曾我一郎商店

とだりはあら  
氣持よく止まる

健胃固腸丸

食傷 腹冷 腹痛に第一等藥  
下痢と腹痛に第一等藥

本舖 大阪 谷 回春堂  
華價 十銭 二十銭 五十銭 一月 三月 五月  
郵 到る處の藥店に販賣せらる

中央婦人病院

元漢城病院(横通) 電話三四〇番 院長 衣笠茂



第二百廿七卷 川邊南龍口演

家も同じこと天下御膝元であります  
城代青山山下野守は松平長七郎を城  
内へ誘ひ、稲妻を走をせし暫く當城内  
へ御遊玩を願ふと申上げた處、長  
子とは天下の殿様人々と云はれたる旗河  
大納言忠長の作であるから當城内に  
罷居つては將某家（相府内）と御御  
進あつて其儘に高麗標筋の大黒屋又  
兵衛方へお引取りになりましたたから  
下野守は詮方々々然し間違ひ筈であ  
つてはならんと思ひつて大黒屋方へ  
役人を出張せしめ緊要いたしました居  
りまする、長七郎も是を辭る譯にも  
ならず其儘に拾直いたが、大黒屋又兵  
衛に對ひ、長七郎又兵衛此度のことは  
旨く云つたな、又有り難うございます  
皆是といふも殿様御影で、私共は  
常席へ永住が出来まする様な計、長  
七郎に就て物には當惑と云つて祝は  
いがあるから、女御衆を招ふといふ騒ぎ、長  
七郎の相方となつたが其明金盛  
儀めた井筒太夫といふのがお相手  
出まする、平次次兵衛等それ  
相方が極る、殿様の密技御聞總辨  
といふので三味線太鼓を打鳴し争  
打つやら踊るやら種々の樂を御覧  
入れた長七郎は生れて始めて感う  
ふ愉快をしたので大層お喜びなすつ  
て其の夜はお寝ひになつたが、翌日  
も又流連といふ騒ぎ、三日三夜大騒  
ぎをいたしましたが、心配をいたした  
たは平次次兵衛、生、今日で三日に  
なるが此の期定は大したもので、知  
うするのだ、守、然れば其の手筈は如  
いがあるから、女御衆を招ふといふ騒ぎ、長  
七郎の相方となつたが其明金盛  
儀めた井筒太夫といふのがお相手  
出まする、平次次兵衛等それ  
相方が極る、殿様の密技御聞總辨  
といふので三味線太鼓を打鳴し争  
打つやら踊るやら種々の樂を御覧  
入れた長七郎は生れて始めて感う  
ふ愉快をしたので大層お喜びなすつ  
て其の夜はお寝ひになつたが、翌日  
も又流連といふ騒ぎ、三日三夜大騒  
ぎをいたしましたが、心配をいたした  
たは平次次兵衛、生、今日で三日に  
なるが此の期定は大したもので、知  
うするのだ、守、然れば其の手筈は如

[illegible][illegible][illegible]

大阪市東區船場町  
名古屋市西區桑名町

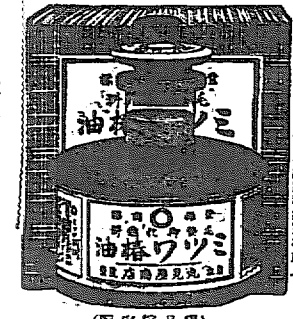

**TSUBAKI (CAMELLIA) OIL**

Mitsuba Tsubaki (Camellia) Oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for all uses.

Price 20 Sen, 50 Sen and 100 Sen.

本品は、ミツワ樟油を基礎とし、之に品質優秀な香料を配合せる光澤美髪料。  
 毛髪諸症の癬原を除き、更に毛髪の營養を良くし、其の色澤を黒艶美ならしめ、最も芳香護面として自ら爽快の感を得る毛髪の最大の發揮に最善の實驗的美髪料なり。

ミツワブリリ





[illegible]

# 統一後變化如何

何にか彼さか名表がついて證明又證明してゐるのて之れを偽鐵に比すれば頗る低いものとつてゐる然し之れは眞浦南鐵道貨物の相違から來てゐるのである、眞鐵は即ち之れを指し鐵道と見るべきが其の運賃率は低くし鐵道は其散支に於て担せしむなければ多く儲けたいことも、其の低く運賃の惠澤を受ける外の農工商各方面を發展させる事に於て鐵道の使命は十分達せらるるので、之れを鐵道の如く外貨を走り其の權利によつて各種の事業を経営して行かねばならぬとは謂が違ふ、而して此邊の相違の根本理由は鐵道が併合されても何等異なる所はない、従つて何れ多少の運賃修正は結局行はれても其大綱は必ずさ維持して行かれるであらう況んや此際眞鐵の貨物運賃引上と云ふ事は漸く發展しつゝある朝鮮鐵道界に少なからぬ打擊を加へるので、滿鐵の眞鐵經營を監督する總督府が其の承認を與へないのは勿論であらう

**△鮮鐵輸送力増大** 鐵道統制により眞鐵の受くる利益は其の貨力の増大と云ふ事であらう、運輸力の増加である有體に云ふと眞鐵の輸

讀蘇峰詩草  
 千山萬壑樓主人

試に蘇軾詩草を把て、徐るに之を咀嚼し、之を品味せん手、聖人の性情、悠然として其の句中より眞理のすを覺ゆすんばあらず。此の意味よりすれば、『蘇軾詩草』は、學人上人を赤濁々津樂舞に寫し出したるものと謂ふも亦不可なきに似たり。

神飛上下三千秋、氣壯懷轡六太洲、  
 咄咄功名是何事、惻惻唯合伴閑鷗、  
 想ふに是れ明治十四年の交、學人が熊本東大江村塾に在りし時、其の機を誦じたるもの、亦た以て一世の智勇を推倒して萬古の心胸を開拓するの概を想見すべし。

題小暮後

滿腹經綸手執、疎狂拙不濟時才、  
 何時取馬臨軍、萬里長江一萬來、  
 是れ明治十六年の作、小暮とは學人が第十九世紀日本の青年及其教育

切田太郎

肩の推托に付き、誤使を怠らざるは  
 申すよの事も御座なく、昨今は頻  
 りに支那特使を掛け、密に其和平手  
 と密接致居候。北洋武人系の背後に  
 有力なる勢力ありなど申し、敵に  
 日本を指すと如く、支那秘使と言へ  
 ば直に日本を指合に出さるゝこと遠  
 慮千萬と存じ候。  
 の露西は暫く覺醒して、東部戰期  
 に獨断の膽を塞かしむるか、遺露  
 特使バルト、武露西亞の成功を確言  
 すとか、大々的に吹聴致居候も、革  
 命以來の露民民心に徴し、尙ほ「  
 「ブル」相場の回復遠なるを見る  
 も、其前途中々樂觀を許さざるもの  
 自之候。尤も昨日本中央政府にては當  
 の著作以前、大江津梁に於て起草し  
 たる自由道徳及儒教主義を指す  
 ならんか、長江大河、萬千里の筆、  
 此時既に其の頭角を露はし來る。後  
 來「將來の日本」を始めし「時務  
 一家言」世界の憂國「大正の青年と  
 帝國の前途」の如き雄偉大作の續出  
 したるもの、豈偶然なる哉。  
 春 雨 明治二十八年  
 奈此無情風雨同、三春光景皆開過。  
 平生腹盡憂時語、也爲櫻花一半多。  
 時に感て花淚を垂く。思獨り少陵  
 のみならん哉。  
 寄 人  
 分明鐵嶽在雲間、極目原隰鳥鳥還。  
 欲向相知消息處、秋風吹落塞山  
 明治二十一年、衆人が「國民之友」を  
 發刊したる時代の作。氣象雄偉、神  
 韻飄舉。詩草中名作の一たり。  
 孤滿韓山殺氣多、紛紛十萬枕箱戈。  
 幾宵一夜天如鼎、渤海風潮今奈何。  
 全非特使の遺來は、元と全然未だ  
 よりの依頼に基き、協同作戰の討論  
 をなす爲めなりこの「有之、理髮屋  
 驛にこそ有非乎の如何なる人物なり  
 ことの質問を受くる位に候。六月三  
 十日の「イグニング、ボスト」は第二  
 回日本觀を發行し、初頁に石井千鶴  
 の寫眞を掲け、家永博士の特使に關  
 する經歷圖を特載致居候。某紙の如  
 きは「他國よりの特使は皆金の相談  
 に來れり、日本は今や成金國、借金  
 の相談なるべきを珍す」など、  
 ヒヤカン居候。同一行の某紙は時又  
 季に際し、名士多し旅行の最中、爲  
 めに歡迎意の如くならざるべしと  
 心配するもの多し候。  
 明治二十七年、征露の役起るや、  
 人、自ら國民精進社諸同人を率ゐ  
 て、廣島に赴き、軍國通儒の任務に  
 従ふ。其作、意氣軒昂、慷慨光大、  
 風雲を叱咤するの概あるもの、亦言  
 ならずや。  
 何時投筆請長檣、一片雄心萬里情。  
 渤海氷開明月日、春風吹入廣陵城。  
 明治二十八年の春、征海大總督の六  
 師を率ゐて海に航し、直隸の野に向  
 はんことするや、現人筆を載せて筆  
 從ふの志あり。渤海附氷の期を待  
 ちつゝありし也。一片雄心萬里情  
 とは現人實観の語。當年の意氣想日  
 するに堪へたり。  
 海城途上  
 天勢穹窿低嶺原、遼河雪淨漲新痕。  
 春風萬里吹無斷、垂柳垂楊處處村。  
 的に是れ渤海湖原の光景。一字も  
 上可からず。  
 遊東道附、

11

[illegible]

佐々木抽子

京城御成町  
南滿洲鐵道株式會社鑛業部  
販賣課出張所  
電話一七七〇番

■本溪湖炭 各炭は龍山貯炭場に十分の貯炭致置候間直接當所又は特約店に御用命被仰付度候

■撫順炭 尚鐵道沿線は一車廿五噸以上の御注文被下候節は一週間内に到着可仕候

■煙臺炭 且又御使用向き御申聞け候へば石炭の性質を案じ最も適當なる良炭を御供給可申候

七千餘噸

順炭

**採鑛冶金學講習會**

會長 工學博士横堀治三郎先生

講師は農商務省礦山局長、東京、大阪、京都、神戶、名古屋、各府縣教育委員會委員長、各高等工業學校校長、各地方官立、私立、及社會的の有力者其他斯第一流大才也。

入會金全免種々其他大特典あり

講義錄集則無代進呈速に樂書にて見付可也

東京市神田區大正町八番地  
大井町六番地  
電話九百九十九號

知るは  
恥よ

鳴物入  
義太夫

吾の鳴物は帝剣の秘蔵 何處にもない新しい試み 橋上々吉

千本櫻道行

鳴物入  
川中傳次郎門  
下中傳次郎門

日 八 月 賣 出

監印レコード 金堂園五拾銭の半直段

出でたり——新趣向！

日 本 音 楽 機 會



馮麟閣未釋放 馮麟閣氏の間に一萬五千元を携帶せしめ北京に派遣せり 因に馮氏已釋放の事は湯玉

本

武士道と商道  
 社京博士 篠田和民  
 鐵道院調  
 總裁  
 中村是公氏  
 其人格、其手腕、凡か非凡か  
 客店と入の店  
 國六

ユズ

學校に家庭に  
 一番信用ある  
 教育的雑誌  
 十三年四月六日  
 郵便 〇七五五  
 東京市本町三丁目

九月號

幼童  
 雜誌  
 良友  
 小學校程度の  
 讀物として  
 最も適切

# 登山の氣

登山の氣

風を作興

よせ

登山の氣

風を作興

よせ

△高山の傳說

△昆虫採集の登山

△植物採集の登山

△火山に登る注意

△登山の觀察仕方

△山上の寒帶湖の研究

△高山の傳說

△昆虫採集の登山

△植物採集の登山

△火山に登る注意

△登山の觀察仕方

△山上の寒帶湖の研究

東京府立第一高等學校校長 櫻井 武雄

東京府立第一高等學校校長 櫻井 武雄

東京府立第一高等學校校長 櫻井 武雄

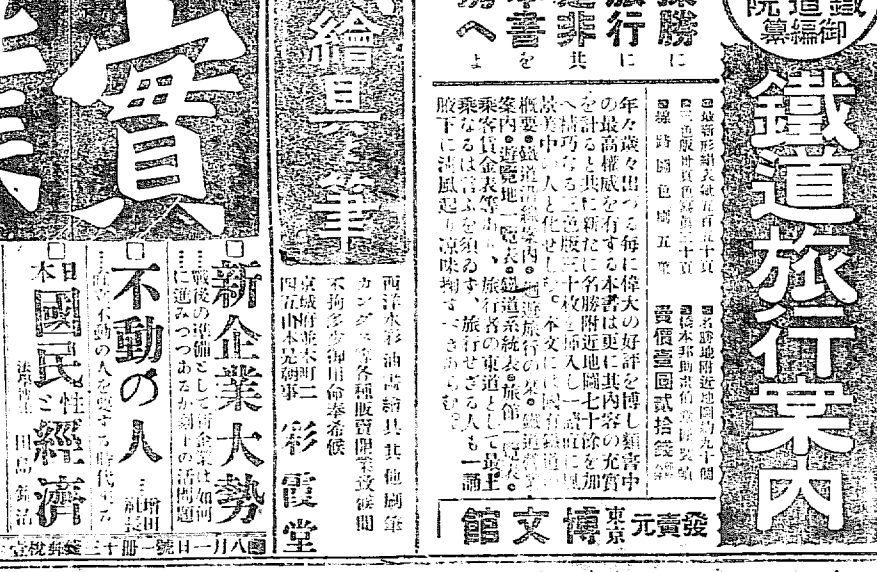
東京府立第一高等學校校長 櫻井 武雄

東京府立第一高等學校校長 櫻井 武雄

東京府立第一高等學校校長 櫻井 武雄

東京府立第一高等學校校長 櫻井 武雄

東京府立第一高等學校校長 櫻井 武雄



如列載首完の卸認可を経て輸入し得る。



會社 魚支部

[illegible]

科  
系  
科

(消化器病)


(内臓外科)

花柳病科  
齊竹葉壽松  
醫學士  
醫師  
各專門醫

丁巳 第壹陸期 新漢國民生

大和病院

電話二〇二二番


 日本領事館  
 支城京色山  
 電話一四八四  
 番四四四  
 番七五七  
 寄七五七

正宗  
店

北島藥卸商  
電話三三四  
北島藥卸商  
電話七六一

井婦人病院  
院長 酒井一郎



